

課 長	係 長	検 算	設 計

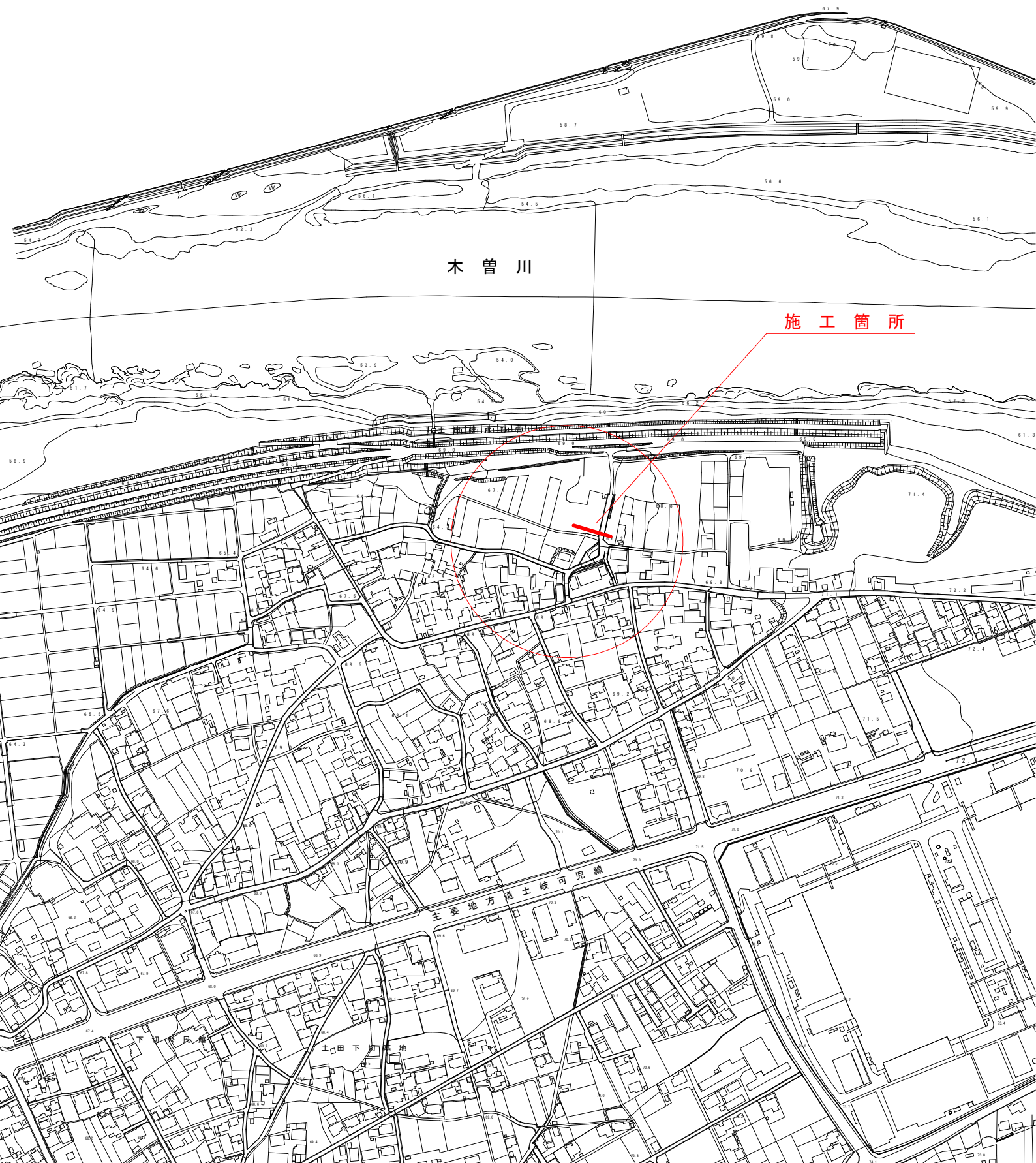
事業年度	
事業種別	
工事番号	下雨工-3

工事名 土田渡雨水幹線整備工事

---

可児市 建設部 土木課

# 位置図



件名	土田渡雨水幹線整備工事		
施工場所	可児市 土田 地内		
金額		内消費税相当額	
理 由			
本工事は、土田渡地内の多目的広場の工事に先駆け、雨水幹線の改修を行うものである。			
概 要			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・土工 一式</li> <li>・土留め工 一式</li> <li>・管渠工 <ul style="list-style-type: none"> <li>FRPM φ 1650 L=21.0m</li> <li>FRPM φ 800 L=3.0m</li> </ul> </li> <li>・No.2 矩形組立マンホール工 <ul style="list-style-type: none"> <li>箱形マンホール 2200×2200 N=1 基</li> </ul> </li> <li>・撤去工 一式</li> </ul>			
特 記 仕 様 書			
<p>1. 一般事項</p> <p>(1) 受注者は、工事請負契約書、可児市建設工事共通仕様書及び特記仕様書に基づき施工するものとする。なお、特記仕様書は共通仕様書に優先する。</p> <p>(2) 受注者は、本工事が「可児市工事事品質証明実施要領」の対象となる場合、要領に基づき品質の証明を実施しなければならない。</p> <p>(3) 受注者は、受注時、変更時、完成時の各時点において工事請負代金額が500万円以上の工事について、工事实績情報システム（コリンズ）に基づき、受注・変更・完成・訂正時に工事实績情報として「登録のための確認のお願い」を提出し監督員の確認を受けた後に、受注時は契約後、土曜日、日曜日、祝日等を除き10日以内に、登録内容の変更時は変更があった日から、土曜日、日曜日、祝日等を除き10日以内に、完了時は完成後、土曜日、日曜日、祝日等を除き10日以内に、訂正時は適宜登録機関に登録申請をしなければならない。変更登録時は、工期、技術者に変更が生じた場合に行うものとし、工事請負代金のみの変更の場合は、原則として登録を必要としない。ただし、工事請負代金500万円未満に変更する場合には変更時登録を行うものとする。なお、変更時と完成時の間が10日間に満たない場合は、変更時の提示を省略できる。</p> <p>(4) 提出・提示書類は別添「可児市建設工事における取扱い書類一覧表」に基づき実施するものとする。また、工事打合簿（指示、協議、承諾は除く）、材料確認簿、夜間・休日作業届けの書類を提出する場合は、所定の様式に基づき、電子メールにて提出するものとし、書面には署名または押印する必要はないものとする。これらに定めのない事項については、監督員と協議する。</p>			

(5) 本工事において以下に示す建設機械を使用する場合は、「特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律（平成 17 年法律第 51 条）」に基づく技術基準に適合する機械、または、「排出ガス対策型建設機械指定要領（平成 3 年 10 月 8 日付建設省経機発第 249 号、最終改定平成 22 年 3 月 18 日付け国総施第 291 号）」、「排出ガス対策型建設機械の普及促進に関する規定（平成 18 年 3 月 17 日付け国土交通省告示第 348 号）」もしくは「第 3 次排出ガス対策型建設機械指定要領（平成 18 年 3 月 17 日付け国総施第 215 号）」に基づき指定された排出ガス対策型建設機械（以下「排出ガス対策型建設機械等」という。）を使用しなければならない。

排出ガス対策型建設機械等を使用できないことを監督員が認めた場合は、平成 7 年度建設技術評価制度公募課題「建設機械の排出ガス浄化装置の開発」、またはこれと同等の開発目標で実施された民間開発技術の技術審査・証明事業もしくは、建設技術審査証明事業により評価された排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用することができるが、これにより難しい場合は、監督員と協議するものとする。

排出ガス対策型建設機械あるいは排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用する場合、現場代理人は施工現場において使用する建設機械の写真撮影を行い、監督員に提出するものとする。

機 種	備 考
一般工事用建設機械 ・バックホウ ・トラクタシャベル（車輪式） ・ブルドーザ ・発動発電機（可搬式） ・空気圧縮機（可搬式） ・油圧ユニット （以下に示す基礎工事用機械のうちベースマシンとは別に、独立したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載しているもの： 油圧ハンマ、パイプロハンマ、油圧式鋼管圧入・引抜機、油圧式杭圧入引抜機、アースオーガ、オールケーシング掘削機、リバーサーキュレーションドリル、アースドリル、地下連続壁施工機、全回転型オールケーシング掘削機） ・ローラ類 （ロードローラ、タイヤローラ、振動ローラ） ・ホイールクレーン	ディーゼルエンジン（エンジン出力 7.5kw以上260kw以下）を搭載した建設機械に限る。
・オフロード法の基準適合表示が付されているもの又は特定特殊自動車確認証の交付を受けているもの ・排出ガス対策型建設機械として指定を受けたもの	

(6) 可児市が発注する「平成 29 年度 土田渡多目的広場整備（その 2）工事」の受注者と同一の業者が受注した場合、「平成 29 年度 土田渡多目的広場整備（その 2）工事」との合算額により共通仮設費、現場管理費、一般管理費等を積算する。

また、本工事と可児市が発注する「平成 29 年度 土田渡多目的広場整備（その 2）工事」は近接施工であるため「平成 29 年度 土田渡多目的広場整備（その 2）工事」の受注者と同一の業者が受注した場合は現場代理人、主任技術者の兼務を認める。ただし、監理技術者の兼務は認めない。なお、受注により現場代理人が兼務となった他の工事の監督員に現場代理人兼務届を提出しなければならない。

## 2. 産業廃棄物の適正処理について

(1) 受注者は、産業廃棄物が搬出される工事にあたっては、監督員の指示に従い、産業廃棄物関連書類の提出及び確認並びに処理施設の現地確認並びに建設廃棄物処理状況の管理を行い、産業廃棄物が最終処分に至るまで適正に処理されていることを確認しなければならない。

(2) 建設発生土については、工事間流用とし、流用先は監督員が指示する。都合により工事間流用ができなくなった場合は、別途協議する。ただし、建設発生土が 100m<sup>3</sup> 未満の場合はこの限りではない。また請負者の都合により処分場を変更する時は監督員に報告するものとする。

### 3. 使用材料

#### (1) アスファルト再生合材について

本工事で使用するアスファルト再生合材には「ささゆりクリーンパーク溶融スラグ」を混入するものとし、使用にあたっては、「溶融スラグの土木資材への利用に関するガイドライン（可児市）」によること。

#### (2) コンクリート二次製品について

本工事に使用するコンクリート二次製品については、ささゆりクリーンパーク溶融スラグ混入資材を使用するものとし、施工前に溶出試験結果等の品質を証明する書類を提出し、監督員の許可を得ること。

#### (3) 生コンクリートについて

本工事に使用する生コンクリート（均しコンクリートを除く）については、水セメント比60%以下とし、品質を証明する書類を提出して、事前に監督員の許可を得ること。

### 4. 工事施工について

(1) 契約書18条第1項第1号から5号に係る設計図書の照査を行い、監督員の確認を受けて施工を行うこと。

(2) 受注者は、工事着手に先立ち、現場付近の地元住民等に対する周知、説明、説得等を行い、トラブルの生じないよう努めること。

(3) 工事による既設構造物の破損については、未然に防止するよう予め十分調査をし、また、支障を及ぼさないよう相当の防護工を施工しなければならない。なお、誤って損傷を与えた場合は、受注者の責任において復旧しなければならない。調査に際しては、記録保存の必要を認めた場合は写真撮影、測量等を行わなければならない。

(4) 工事着手前に、可児市基準点（世界測地系）を用い、境界（座標）を確認すること。また、特に指示しない限り、構造物を官民境界とするため、官民境界と構造物の位置を示した図面等にて施工した構造物が民地を侵していないことを報告すること。

(5) 施工区間と現道との取付については、交通の支障とならないよう充分留意すること。

(6) 必要に応じ交通誘導警備員を配置し、安全を期さなければならない。また、夜間の安全確保についても十分な対策を施すこと。

### 5. 工事保険について

本工事において、発注者、受注者及び全下請人を被保険者として、工事着手から工事目的物の引渡しまでの期間について、賠償責任保険（保険対象：第三者に与えた損害）及び工事保険（保険対象：工事目的物、工事材料及び仮設物等）に加入するものとする。

### 6. ワンデーレスポンスの取組について

(1) この工事は、ワンデーレスポンス実施対象工事です。

「ワンデーレスポンス」とは受注者からの質問、協議、報告、承諾願、立会願等への回答は、基本的に「その日のうち」に回答するよう対応することです。ただし、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者と協議のうえ、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」にすることとする。

(2) 実施にあたっては、可児市工事監督におけるワンデーレスポンス実施要領に基づき実施する。

(3) 受注者は工事施工中において、問題が発生した場合や計画工程と実行程を比較照査し、差異が生じた場合は速やかに監督員へ報告すること。

(4) 受注者は、施工計画書に基づいて適正な計画工程を作成し、工事の先々を予見しながら、施工するものとする。

### 7. 電子納品について

「岐阜県電子納品要領」等に基づき、電子納品を行うこと。なお、電子納品の内容については、監督員と事前に協議し、決定すること。

#### 8. 暴力団等による不当介入における通報義務について

- (1) 受注者は、契約の履行に当たって、暴力団又は暴力団員等から、事実関係及び社会通念等に照らして合理的な理由が認められない不当若しくは違法な要求又は契約の適正な履行を妨げる妨害を受けたときは、警察へ通報するとともに、可児市が行う契約からの暴力団排除に関する措置要綱（平成22年可児市訓令甲第47号）に定める様式第9号により可児市に報告しなければならない。なお、通報・報告がない場合は、可児市建設工事請負契約に係る指名停止措置要領に基づき、指名停止等の措置を行うことがある。
- (2) 受注者は、暴力団又は暴力団員等による不当介入を受けたことにより、履行期間内に工事等を完了することができないときは、発注者に履行期間の延長変更を請求することができる。

#### 9. 現場代理人の兼務について

現場代理人は、工事請負契約約款第10条第2項の規定により、契約工期内の現場常駐が義務付けられているが、契約締結後、現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間や、工事の全部の施工を一時中止している期間については、監督員との連絡体制を確保した上で、常駐義務を緩和するものとする。

また、以下の条件を全て満たす場合に、他工事の現場代理人又は専任でない主任技術者を兼務することができる。

1. 他工事は、可児市発注の建設工事で、工事現場が市内であること。
2. 他工事においても、本工事と同様に現場代理人の兼務を認めていること。
3. 兼務を行う工事の総数が、本工事を含めて3件までであること。
4. 兼務を行う工事の請負代金額の合計が2,500万円未満であること。
5. 発注者又は監督員が求めた場合には、工事現場に速やかに向かう等の対応ができること。

なお、工事現場における運営、取締り及び権限の行使に支障がある場合、及び、発注者との連絡体制が確保されていないと監督員が認めた場合は、兼務を取り消すものとする。現場代理人が兼務となった場合は、本工事の監督員及び他工事の監督員の双方に、現場代理人兼務届を提出しなければならない。

#### 10. 主任技術者又は監理技術者の専任を要しない期間について

請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材搬入、仮設工事等が開始されるまでの期間）については主任技術者または監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、現場施工に着手する日については、請負契約締結後、監督職員と打ち合わせにおいて定める。

また、工事完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合は除く。）事務手続き、後片付け等のみが残っている期間については、主任技術者または監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、検査が終了した日は発注者が工事の完成を確認した旨、受注者に通知した日とする。

特記仕様書  
(条件明示)

工事名 土田渡雨水幹線整備工事

下記項目、事項のうちレ印該当欄は、工事施工にあたって制約等をうけることになるので明示する。  
なお、明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、市と協議し適切な処置を講ずるものとする。

施工条件		
明示項目	明示事項	制約条件等
工 程	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 関連する別途発注工事あり	<input checked="" type="checkbox"/> A. 工種 (平成29年度 土田渡多目的広場整備 (その2) 工事) <input checked="" type="checkbox"/> B. 期間 (H30.3.16 ~ H31.1.31)
	<input type="checkbox"/> 2. 他機関協議による工程条件あり	<input type="checkbox"/> A. 工種 ( ) <input type="checkbox"/> B. 期間 ( ~ )
	<input type="checkbox"/> 3. 他機関との協議状況	<input type="checkbox"/> A. 協議済機関及び内容 ( ) <input type="checkbox"/> B. 未協議機関及び内容 ( )
	<input type="checkbox"/> 4. 占用許可状況 ( )	<input type="checkbox"/> A. 許可済 <input type="checkbox"/> B. 申請中
	<input type="checkbox"/> 5. 建築確認	<input type="checkbox"/> A. 許可済 <input type="checkbox"/> B. 申請中
	<input type="checkbox"/> 6. 河川区域、保全区域内作業あり	<input type="checkbox"/> A. 許可済 <input type="checkbox"/> B. 申請中
	<input type="checkbox"/> 7. 文化財協議 (教育文化財課)	<input type="checkbox"/> A. 協議済内容 ( ) <input type="checkbox"/> B. 未協議内容 ( )
	<input type="checkbox"/> 8. その他 ( )	<input type="checkbox"/> A. その他 ( )
用 地	<input type="checkbox"/> 1. 用地補償物件撤去まで着工制限あり	<input type="checkbox"/> A. 区間 (Nc ~ NO.) <input type="checkbox"/> B. 着工見込時期 ( ) <input type="checkbox"/> C. 内容 ( )
	<input type="checkbox"/> 2. 工事用地の未買収	<input type="checkbox"/> A. 場所 ( ) <input type="checkbox"/> B. 処理の見込み時期 ( ) <input type="checkbox"/> C. 未買収地への立ち入り可否
	<input type="checkbox"/> 3. 仮設ヤードの有無	<input type="checkbox"/> A. 官有地 <input type="checkbox"/> B. 民有地 <input type="checkbox"/> C. その他 ( ) <input type="checkbox"/> D. 別途協議
	<input type="checkbox"/> 4. その他 ( )	<input type="checkbox"/> A. その他 ( )
公 害 対 策	<input type="checkbox"/> 1. 施工方法の制限あり	<input type="checkbox"/> A. 騒音 ( ) <input type="checkbox"/> B. 振動 ( ) <input type="checkbox"/> C. 水管 ( ) <input type="checkbox"/> D. その他 ( )
	<input type="checkbox"/> 2. 事業損失防止に関する調査あり	<input type="checkbox"/> A. 調査の項目 ( )
	<input type="checkbox"/> 3. 環境影響調査あり	<input type="checkbox"/> A. 生物・植物調査あり <input type="checkbox"/> B. フロン回収あり <input type="checkbox"/> C. その他 ( )
	<input type="checkbox"/> 4. その他 ( )	<input type="checkbox"/> A. 全面通行止め <input type="checkbox"/> B. 片側通行止め <input type="checkbox"/> C. 時間制限あり ( )
安 全 対 策	<input type="checkbox"/> 1. 交通規制あり	<input type="checkbox"/> A. 迂回路あり <input type="checkbox"/> B. 仮設歩道必要
	<input type="checkbox"/> 2. 通学路あり	<input type="checkbox"/> A. 区間 (Nc ~ ) 配置人員 人/日 <input type="checkbox"/> B. 区間 ( ) 配置人員 人/日 <input type="checkbox"/> C. 区間 (Nc ~ ) 配置人員 人/日 <input type="checkbox"/> D. 交番要員あり
	<input type="checkbox"/> 3. 鉄道等の近接作業制限あり	<input type="checkbox"/> A. 工法制限あり ( ) <input type="checkbox"/> B. 作業時間制限あり ( )
	<input type="checkbox"/> 4. バス路線 (運行者との協議)	<input type="checkbox"/> A. 協議済内容 ( ) <input type="checkbox"/> B. 未協議内容 ( )
工 事 用 道 路	<input type="checkbox"/> 5. その他 ( )	<input type="checkbox"/> A. その他 ( )
	<input type="checkbox"/> 1. 一般道路 (搬入路) の使用制限	<input type="checkbox"/> A. 搬入経路指定あり <input type="checkbox"/> B. 時間帯制限あり
	<input type="checkbox"/> 2. 仮設道路の設置条件あり	<input type="checkbox"/> A. 一般交通供用あり <input type="checkbox"/> B. 安全施設必要 ( ) <input type="checkbox"/> C. 路面工 ( ) <input type="checkbox"/> D. 工事完了後存続又は撤去 ( ) <input type="checkbox"/> E. 構造 ( ) <input type="checkbox"/> F. 用地 (借地) <input type="checkbox"/> G. 用地 (公用地) <input type="checkbox"/> H. 用地 (その他)
<input type="checkbox"/> 3. その他 ( )	<input type="checkbox"/> A. その他 ( )	
指 定 仮 設 備	<input type="checkbox"/> 1. 仮設物の指定又は一部指定あり	<input type="checkbox"/> A. 工種 ( )
	<input type="checkbox"/> 2. 仮設構造物の転用、兼用あり	<input type="checkbox"/> A. 工種 ( ) <input type="checkbox"/> B. 内容 ( )
	<input type="checkbox"/> 3. その他 ( )	<input type="checkbox"/> A. その他 ( )

明示項目	明示事項	制約条件等
建 設 発 生 土 建 設 ( 産 業 ) 廃 棄 物 関	<input type="checkbox"/> 1. 発生土砂等の有効利用、適正処理あり [場所が未確定]	<input type="checkbox"/> A. 運搬距離 ( Km ) <input type="checkbox"/> B. 投棄料計上あり <input type="checkbox"/> C. 整地 (押土、敷均、締固等) 必要 <input type="checkbox"/> D. 整地 (押土) 必要
	<input type="checkbox"/> 2. 発生土砂等の有効利用、適正処理あり [自工事へ流用]	<input type="checkbox"/> A. 盛土、埋戻 <input type="checkbox"/> B. ストックヤード利用あり ( ) <input type="checkbox"/> C. 仮置場必要 ( ) <input type="checkbox"/> D. 運搬距離 ( Km ) <input type="checkbox"/> E. 仮置場の用地借上費計上あり
	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 発生土砂等の有効利用、適正処理あり [他工事へ流用、または処分地指定]	<input checked="" type="checkbox"/> A. 場所 (現場内処理) <input checked="" type="checkbox"/> B. 盛土、埋戻 <input checked="" type="checkbox"/> C. 整地 (押土、敷き均し、転圧) あり <input type="checkbox"/> D. ストックヤード利用あり ( ) <input type="checkbox"/> E. 仮置場必要 ( ) <input type="checkbox"/> F. 運搬距離 ( Km ) <input type="checkbox"/> G. 仮置場の用地借上費計上あり <input type="checkbox"/> H. 処分料計上あり
	<input type="checkbox"/> 4. 発生土砂等の有効利用、適正処理あり [他工事からの流用]	<input type="checkbox"/> A. 他工事名 ( ) <input type="checkbox"/> B. 請負者運搬あり (運搬距離) <input type="checkbox"/> C. 盛土、埋戻し <input type="checkbox"/> D. ストックヤード利用あり ( ) <input type="checkbox"/> E. 仮置場必要 ( ) <input type="checkbox"/> F. 仮置場の用地借上費計上あり
	<input type="checkbox"/> 5. 産業廃棄物の処理条件あり [特別管理産業廃棄物]	<input type="checkbox"/> A. 種類 ( ) <input type="checkbox"/> B. 場所 ( ) <input type="checkbox"/> C. 中間処理施設までの運搬距離 ( Km ) <input type="checkbox"/> D. 処理費計上あり
	<input type="checkbox"/> 6. 浄化槽、汲み取り便槽の取壊し処分あり	<input type="checkbox"/> A. 槽内洗浄必要 <input type="checkbox"/> B. 可見市環境課と打合せの必要あり
	<input type="checkbox"/> 7. 「可見市が発注する公共工事から発生する産業廃棄物適正処理について」に基づく提出・提示書類あり	<input type="checkbox"/> A. 産業廃棄物管理票 (マニフェスト) <input type="checkbox"/> B. 建設発生土処理地の関係図書 <input type="checkbox"/> C. クレダス
工 事 支 障 物 件	<input type="checkbox"/> 1. 占用支障物件あり (電気)	<input type="checkbox"/> A. 移設時期 (H 年 月 頃) <input type="checkbox"/> B. 移設時期 (別途協議)
	<input type="checkbox"/> 2. 占用支障物件あり (電話)	<input type="checkbox"/> A. 移設時期 (H 年 月 頃) <input type="checkbox"/> B. 移設時期 (別途協議)
	<input type="checkbox"/> 3. 占用支障物件あり (水道)	<input type="checkbox"/> A. 移設時期 (H 年 月 頃) <input type="checkbox"/> B. 移設時期 (別途協議)
	<input type="checkbox"/> 4. 占用支障物件あり (下水道)	<input type="checkbox"/> A. 移設時期 (H 年 月 頃) <input type="checkbox"/> B. 移設時期 (別途協議)
	<input type="checkbox"/> 5. 占用支障物件あり (ガス)	<input type="checkbox"/> A. 移設時期 (H 年 月 頃) <input type="checkbox"/> B. 移設時期 (別途協議)
	<input type="checkbox"/> 6. 占用支障物件あり (マンホール蓋、仕切り弁蓋等)	<input type="checkbox"/> A. 管理者による高さ調整 ( ) <input type="checkbox"/> B. 請負者による高さ調整 ( )
	<input type="checkbox"/> 7. 占用支障物件あり (その他)	<input type="checkbox"/> A. 移設時期 ( ) <input type="checkbox"/> B. 移設時期 (別途協議)
排 水 工 関 係	<input type="checkbox"/> 8. その他 ( )	<input type="checkbox"/> A. その他 ( )
	<input type="checkbox"/> 1. 濁水、湧水処理条件あり	<input type="checkbox"/> A. 方法 ( ) <input type="checkbox"/> B. 移設時期 ( )
再 生 材 使 用 及 び 溶 融 ス ラ グ	<input type="checkbox"/> 2. その他 ( )	<input type="checkbox"/> A. その他 ( )
	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 再生材使用指定あり	<input checked="" type="checkbox"/> A. RC <input type="checkbox"/> B. アスファルト再生合材 (30%再生) <input type="checkbox"/> C. アスファルト再生合材 (100%再生) <input type="checkbox"/> D. 溶融スラグ使用あり ( ) <input type="checkbox"/> E. 再生材を使用できない場合別途協議
そ の 他	<input type="checkbox"/> 2. その他 ( )	<input type="checkbox"/> A. その他 ( )
	<input type="checkbox"/> 1. 現場発生材あり	<input type="checkbox"/> A. 品名 ( ) <input type="checkbox"/> B. 納入場所 ( )
	<input type="checkbox"/> 2. 支給材あり	<input type="checkbox"/> A. 品名 ( ) <input type="checkbox"/> B. 引渡し場所 ( )
	<input type="checkbox"/> 3. イメージアップあり	<input type="checkbox"/> A. 仮設費 ( ) <input type="checkbox"/> B. 安全費 ( ) <input type="checkbox"/> C. 警備費 ( ) <input type="checkbox"/> D. 特別なイメージアップ ( )
	<input type="checkbox"/> 4. 「可見市工事品質証明実施要領」該当あり	<input type="checkbox"/> A. 品質証明員の配置あり
<input type="checkbox"/> 5. その他 ( )	<input type="checkbox"/> A. その他 ( )	









## 明細書

### 1号明細書

土工

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
【施P】床掘り (A区分) 土砂 標準 無し 障害無し	m3	460			1号代価表	
【施P】床掘り (B区分) 土砂 標準 切梁腹起式 障害有り	m3	430			2号代価表	
【施P】床掘り (B区分) 土砂 掘削深さ5m超20m以下 切梁腹起式 障害有	m3	40			3号代価表	
【施P】埋戻し (A区分) 最小埋戻幅4m以上	m3	370			4号代価表	
【施P】埋戻し (B区分) 最大埋戻幅1m以上4m未満	m3	280			5号代価表	
埋戻し (碎石)	m3	80			6号代価表	
計						

## 明細書

### 2号明細書

土留工

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
建込工(両側分) 掘削深4.0m以下	m	12			7号代価表	
引抜き工(両側分) 掘削深4.0m以下 ラフレレンクレーン油圧伸縮ジブ型16t	m	12			8号代価表	
土留等の賃料 30m1セット 1回 深さ4m 幅2.95m	式	1			9号代価表	
圧入 (Nmax ≤ 25) 陸上 III型 圧入長9m以下 継無し	枚	80			10号代価表	
鋼矢板賃料 普通III型 80枚 1回使用	式	1			11号代価表	
引抜き 陸上 III型 引抜き長9m以下 継無し	枚	80			12号代価表	
引抜き 陸上 III型 引抜き長9m以下 継無し	枚	80			13号代価表	
二重管ストレーナ工法 複相方式 2セット レキ1.4m 砂7.1m 粘0m 土被り長7	本	17			14号代価表	
二重管ストレーナ工法 複相方式 2セット レキ1.4m 砂6.83m 粘0m 土被り長	本	12			15号代価表	
二重管ストレーナ工法 複相方式 2セット レキ1.4m 砂6.87m 粘0m 土被り長	本	3			16号代価表	
切梁・腹起し設置・撤去 火打ちブロック無	t	13.300			17号代価表	
山留材 賃料	式	1			18号代価表	
油圧式杭圧入引抜き機据付・解体 陸上 III型 圧入 (Nmax ≤ 25)	回	1			19号代価表	
油圧式杭圧入引抜き機据付・解体 陸上 III型 引抜き	回	1			20号代価表	





【施P】床掘り (A区分)  
土砂 標準 無し 障害無し

## 代価表

1号代価表

1 m3当り

	名称・規格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘要	備考
K						
K1	バックホ[排出ガス対策型(第2次基準値)] クロー型・山積0.8 m3(平積0.6 m3)					
R						
R1	運転手(特殊)					
Z						
Z1	軽油 小型ローリー バトル給油					
	土質：土砂 施工方法：標準 土留方式の種類：無し 障害の有無：障害無し (バックホ)排ガス機械の選択：排ガス対策型(第2次基準値) 軽油：軽油； 小型ローリー バトル給油					

【施P】床掘り (B区分)  
土砂 標準 切梁腹起式 障害有り

## 代価表

2号代価表

1 m3当り

	名称・規格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘要	備考
K						
K1	バックホ[排出ガス対策型(第2次基準値)] クロー型・山積0.8 m3(平積0.6 m3)					
R						
R1	普通作業員					
R2	運転手(特殊)					
Z						
Z1	軽油 小型ローリー バトル給油					
	土質：土砂 施工方法：標準 土留方式の種類：切梁腹起式 (バックホ)排ガス機械の選択：排ガス対策型(第2次基準値) 軽油：軽油； 小型ローリー バトル給油					

## 代価表

【施P】床掘り (B区分)  
土砂 掘削深さ5m超20m以下 切梁腹起式 障害有り

3号代価表

1 m3当り

K	名称・規格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘要	備考
K1	油圧クラムシェル テレスコピック式・平積0.4m3					
K2	小型バックホウ[排出ガス対策型(第1次基準値)] クローラ型・山積0.08 m3(平積0.06m3)					
R						
R1	普通作業員					
R2	特殊作業員					
R3	運転手(特殊)					
Z						
Z1	軽油 小型ローリー バトル給油					
	土質：土砂					
	施工方法：掘削深さ5m超20m以下					
	土留方式の種類：切梁腹起式 (小型バックホウ)排ガス機械の選択：排ガス対策型(第1次基準値)					
	軽油：軽油； 小型ローリー バトル給油					

## 代価表

【施P】埋戻し (A区分)  
最小埋戻幅4m以上

4号代価表

1 m3当り

K	名称・規格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘要	備考
K1	ブルドーザー[排出ガス対策型(第1次基準値)] 普通15t級(13~16t)					
K2	バックホウ[排出ガス対策型(第2次基準値)] クローラ型・山積0.8 m3(平積0.6 m3)					
R						
R1	運転手(特殊)					
Z						
Z1	軽油 小型ローリー バトル給油					
	施工方法：最小埋戻幅4m以上					
	(バックホウ)排ガス機械の選択：排ガス対策型(第2次基準値)					
	(ブルドーザー)排ガス機械の選択：排ガス対策型(第1次基準値)					
	軽油：軽油； 小型ローリー バトル給油					







## 代価表

引抜工(両側分)  
掘削深4.0m以下 ラフテレンクレーン油圧伸縮ジブ型16t吊

8号代価表

10 m 当り

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
土木一般世話役	人					
特殊作業員	人					
普通作業員	人					
ラフテレンクレーン・作業料金 16t吊 ホバレータ付 日極	台/日					
諸 雑 費	式	1			調整金	
計						
1 m 当り						
10m当りの引抜工：S1=0.18, S2=0.18, S3=0.36, S4a=0.18, KDP=4；4.0m以下；引抜工(10m当り)：世話役(人), 特殊作業員(人), 普通作業員(人), クレーン(日), 掘削深さ(m以下)						
クレーン機種選択(4m以下)：ラフテレンクレーン 油圧伸縮ジブ型16t吊 (クレーン)賃料長期割引の適用：長期割引あり						
クレーン賃料補正：標準						

## 代価表

土留等の賃料 30m1セット 1回  
深さ4m 幅2.95m

9号代価表

1 式 当り

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
たて込み簡易土留材(賃貸) 30m当 4.0型 深4.0m 幅3.0m未満	m2/日					
建込み簡易土留機材修理費・損耗費 30m当 深3.5m超え6.0m以下 W3m未満	m2	240				
諸 雑 費	式	1			調整金	
計						
1 式 当り						
代価表単位の選択：1式当り代価表 代価表当り数量の対象：賃貸数量						
セット数：30m 1セット						
掘削幅：W=2.95m						
掘削深：H=4m						
(修理・損耗費)(整備費)計上区分：修理・損耗費						
供用日数(総施工延長分)：KN1=4日						
簡易土留め機材の使用回数：n=1回						

## 代価表

圧入 (Nmax ≤ 25)  
陸上 III型 圧入長9m以下 継無し

10号代価表

10枚当り

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
土木一般世話役	人					
特殊作業員	人					
とび工	人					
油圧式杭圧入引抜機(排対1次) 軽量鋼矢板・圧入981~1471kN引抜1079~1569kN	日				2号単価表	
ラフテレンクレーン(排対2次) 油圧伸縮ジブ型・吊上能力25t吊	日				3号単価表	
諸雑費	%				諸雑費	
計						
1枚当り						
施工場所：陸上 鋼矢板型式：III型 圧入長：9m以下 (杭圧入引抜機)排ガス機械(工種指定)の選択：排ガス対策型(第1次基準値)(※標準)圧入981~1471kN(100~150t)						
油圧式杭圧入引抜機：油圧式杭圧入引抜機(排対1次)； 軽量鋼矢板・圧入981~1471kN引抜1079~1569kN (ラフテレンクレーン)排ガス機械の選択：排ガス対策型(第2次基準値)						
ラフテレンクレーン：ラフテレンクレーン(排対2次)； 油圧伸縮ジブ型・吊上能力25t吊 鋼矢板賃料の計上：施工費のみ						

## 代価表

鋼矢板賃料 普通III型 80枚  
1回使用

11号代価表

1式当り

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
鋼矢板(賃貸)90日以内 3型 60kg/m	t/日					
鋼矢板(賃貸)整備費 3型 60kg/m	t	40.800				
諸 雑 費	式	1			調整金	
計						
1式当り						
供用日数の掛け方：数量欄に対して供用日数を掛ける 代価表単位の選択：1式当り代価表 1式当り鋼矢板質量の適用：賃貸枚数から計算算出 1枚当り矢板長：L=8.5m/枚 1式当り鋼矢板賃貸枚数：C=80枚 鋼矢板の選択：普通鋼矢板 普通鋼矢板の規格：K=3, W=60； III型； 鋼矢板型式, m当り質量(kg/m) 継続工事の有無：継続工事なし 供用日数の適用方法：供用日数(賃料期間)を入力 1現場当り供用日数：d=16日 作業の選択 3型：鋼矢板(賃貸)整備費； 3型 60kg/m 1現場当り使用回数：n=1回使用						

## 代価表

引抜き  
陸上 III型 引抜長9m以下 継無し

12号代価表

10 枚当り

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
土木一般世話役	人					
特殊作業員	人					
とび工	人					
油圧式杭圧入引抜機(排対1次) 軽量鋼矢板・圧入981~1471kN引抜1079~1569kN	日				2号単価表	
ラフテレンクレーン(排対2次) 油圧伸縮ジブ型・吊上能力25t吊	日				3号単価表	
諸雑費	%				諸雑費	
計						
1 枚 当 り						
施工場所：陸上 鋼矢板型式：III型 引抜長：9m以下 (杭圧入引抜機)排ガス機械(工種指定)の選択：排ガス対策型(第1次基準値)(※標準)圧入981~1471kN(100~150t)						
油圧式杭圧入引抜機：油圧式杭圧入引抜機(排対1次)； 軽量鋼矢板・圧入981~1471kN引抜1079~1569kN (ラフテレンクレーン)排ガス機械の選択：排ガス対策型(第2次基準値)						
ラフテレンクレーン：ラフテレンクレーン(排対2次)； 油圧伸縮ジブ型・吊上能力25t吊 鋼矢板賃料の計上：施工費のみ						

## 代価表

引抜き  
陸上 III型 引抜長9m以下 継無し

13号代価表

10 枚当り

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
土木一般世話役	人					
特殊作業員	人					
とび工	人					
油圧式杭圧入引抜機(排対1次) 軽量鋼矢板・圧入981~1471kN引抜1079~1569kN	日				2号単価表	
ラフテレンクレーン(排対2次) 油圧伸縮ジブ型・吊上能力25t吊	日				3号単価表	
諸雑費	%				諸雑費	
計						
1 枚 当 り						
施工場所：陸上 鋼矢板型式：III型 引抜長：9m以下 (杭圧入引抜機)排ガス機械(工種指定)の選択：排ガス対策型(第1次基準値)(※標準)圧入981~1471kN(100~150t)						
油圧式杭圧入引抜機：油圧式杭圧入引抜機(排対1次)； 軽量鋼矢板・圧入981~1471kN引抜1079~1569kN (ラフテレンクレーン)排ガス機械の選択：排ガス対策型(第2次基準値)						
ラフテレンクレーン：ラフテレンクレーン(排対2次)； 油圧伸縮ジブ型・吊上能力25t吊 鋼矢板賃料の計上：施工費のみ						

## 代価表

二重管スレーナ工法

複相方式 2セット レキ1.4m 砂7.1m 粘0m 土被り長7.5m 405L/本 水

14号代価表

1本当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
土木一般世話役	人					
特殊作業員	人					
普通作業員	人					
土質安定注入薬剤 懸濁型無機瞬結タイプ	L					
土質安定注入薬剤 懸濁型無機中結タイプ	L					
ホ-リンクマン 油圧式・5.5kW級	日					
薬液注入施工機器[薬液注入ポンプ] 5~20L/min*2	日					
削孔消耗材料費(複相方式) レキ1.4m 砂7.1m 粘0m	本	1			36号代価表	
注入消耗材料費 複相方式	L				37号代価表	
諸雑費	%				諸雑費	
計						
1本当り						

## 代価表

二重管スレーナ工法

複相方式 2セット レキ1.4m 砂7.1m 粘0m 土被り長7.5m 405L/本 水

14号代価表

1本当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
代価表当り数量の選択：1本当り代価表 注入方式：複相方式						
セット数：2セット						
消耗材料費計上区分：計上する						
1本当りレキ質土の削孔長：101=1.4m						
1本当り砂質土の削孔長：102=7.1m						
1本当り粘性土の削孔長：103=0m						
土被り長(12)：12=7.5m						
注入量の算出方法：1本当り注入量を入力 1本当り注入量(Qs)：Qsa1=405L/本						
一次注入材料計上区分：計上する						
一次注入材料：土質安定注入薬剤；懸濁型無機瞬結タイプ						
二次注入材料計上区分：計上する						
二次注入材料：土質安定注入薬剤；懸濁型無機中結タイプ						
一次・二次の注入比率：1：1						
水ガ-ラズ積算流量計の有無：無						
削孔消耗材料費計上方法：全土質分の代価表を計上する						
削孔消耗材料費：削孔消耗材料費(複相方式)；レキ1.4m 砂7.1m 粘0m						
注入消耗材料費の代価表区分：1000L当りの代価表						
注入消耗材料費：注入消耗材料費；複相方式						
特許料の有無：無						

## 代価表

二重管スレーナ工法  
複相方式 2セット レキ1.4m 砂6.83m 粘0m 土被り長7.13m 435L/本

15号代価表

1本当り

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
土木一般世話役	人					
特殊作業員	人					
普通作業員	人					
土質安定注入薬剤 懸濁型無機瞬結タイプ	L					
土質安定注入薬剤 懸濁型無機中結タイプ	L					
ホ-リングマン 油圧式・5.5kW級	日					
薬液注入施工機器[薬液注入ポンプ] 5~20L/min*2	日					
削孔消耗材料費(複相方式) レキ1.4m 砂6.83m 粘0m	本	1			38号代価表	
注入消耗材料費 複相方式	L				37号代価表	
諸雑費	%				諸雑費	
計						
1本当り						

## 代価表

二重管スレーナ工法  
複相方式 2セット レキ1.4m 砂6.83m 粘0m 土被り長7.13m 435L/本

15号代価表

1本当り

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
代価表当り数量の選択：1本当り代価表 注入方式：複相方式						
セット数：2セット						
消耗材料費計上区分：計上する						
1本当りレキ質土の削孔長：101=1.4m						
1本当り砂質土の削孔長：102=6.83m						
1本当り粘性土の削孔長：103=0m						
土被り長(12)：12=7.13m						
注入量の算出方法：1本当り注入量を入力 1本当り注入量(Qs)：Qsa1=435L/本						
一次注入材料計上区分：計上する						
一次注入材料：土質安定注入薬剤；懸濁型無機瞬結タイプ						
二次注入材料計上区分：計上する						
二次注入材料：土質安定注入薬剤；懸濁型無機中結タイプ						
一次・二次の注入比率：1：1						
水ガ-ラス積算流量計の有無：無						
削孔消耗材料費計上方法：全土質分の代価表を計上する						
削孔消耗材料費：削孔消耗材料費(複相方式)；レキ1.4m 砂6.83m 粘0m						
注入消耗材料費の代価表区分：1000L当りの代価表						
注入消耗材料費：注入消耗材料費；複相方式						
特許料の有無：無						

## 代価表

二重管スレーナ工法  
複相方式 2セット レキ1.4m 砂6.87m 粘0m 土被り長7.27m 324L/本

16号代価表

1本当り

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
土木一般世話役	人					
特殊作業員	人					
普通作業員	人					
土質安定注入薬剤 懸濁型無機瞬結タイプ	L					
土質安定注入薬剤 懸濁型無機中結タイプ	L					
ホーリングマシン 油圧式・5.5kW級	日					
薬液注入施工機器[薬液注入ポンプ] 5~20L/min*2	日					
削孔消耗材料費(複相方式) レキ1.4m 砂6.87m 粘0m	本	1				39号代価表
注入消耗材料費 複相方式	L					37号代価表
諸雑費	%					諸雑費
計						
1本当り						

## 代価表

二重管スレーナ工法  
複相方式 2セット レキ1.4m 砂6.87m 粘0m 土被り長7.27m 324L/本

16号代価表

1本当り

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
代価表当り数量の選択：1本当り代価表 注入方式：複相方式						
セット数：2セット						
消耗材料費計上区分：計上する						
1本当りレキ質土の削孔長：101=1.4m 1本当り砂質土の削孔長：102=6.87m 1本当り粘性土の削孔長：103=0m 土被り長(12)：12=7.27m						
注入量の算出方法：1本当り注入量を入力 1本当り注入量(Qs)：Qsa1=324L/本						
一次注入材料計上区分：計上する 一次注入材料：土質安定注入薬剤；懸濁型無機瞬結タイプ						
二次注入材料計上区分：計上する 二次注入材料：土質安定注入薬剤；懸濁型無機中結タイプ						
一次・二次の注入比率：1：1 水ガラス積算流量計の有無：無						
削孔消耗材料費計上方法：全土質分の代価表を計上する 削孔消耗材料費：削孔消耗材料費(複相方式)；レキ1.4m 砂6.87m 粘0m						
注入消耗材料費の代価表区分：1000L当りの代価表 注入消耗材料費：注入消耗材料費；複相方式						
特許料の有無：無						





## 代価表

18号代価表

1式当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
H鋼山留材賃料 H300 3.4t 1回使用	式	1			40号代価表	
H鋼山留材賃料 H350 2.6t 1回使用	式	1			41号代価表	
H鋼山留材賃料 H400 7.2t 1回使用	式	1			42号代価表	
計						
1式当り						

## 代価表

19号代価表

1回当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
土木一般世話役	人					
特殊作業員	人					
とび工	人					
油圧式杭圧入引抜機(排対1次) 軽量鋼矢板・圧入981~1471kN引抜1079~1569kN	日				2号単価表	
ラフテレンクレーン(排対2次) 油圧伸縮ジブ型・吊上能力25t吊	日				3号単価表	
諸雑費	式	1			調整金	
計						
1回当り						
据付・解体歩掛：圧入(Nmax≤25)； 労務(人/回)：世話役, 特殊作業員, とび工, 油圧式杭圧入引抜機, ラフテレンクレーン 鋼矢板型式：Ⅲ型						
(杭圧入引抜機)排ガス機械(工種指定)の選択：排ガス対策型(第1次基準値)(※標準)圧入981~1471kN(100~150t)						
施工場所：陸上						
油圧式杭圧入引抜機運転費：油圧式杭圧入引抜機(排対1次)； 軽量鋼矢板・圧入981~1471kN引抜1079~1569kN (ラフテレンクレーン)排ガス機械の選択：排ガス対策型(第2次基準値)						
ラフテレンクレーン：ラフテレンクレーン(排対2次)； 油圧伸縮ジブ型・吊上能力25t吊						





## 代価表

強化プラスチック複合管布設 機械施工  
管径800mm

24号代価表

10 m 当り

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
土木一般世話役	人					
特殊作業員	人					
普通作業員	人					
バックホウ(賃料) 山積み0.45m3	日				4号単価表	
諸雑費	%				諸雑費	
計						
1 m 当り						
布設歩掛：機械施工:800mm；強化プラスチック複合管布設率(%)		(10m当り)	世話役(人), 特殊作業員(人), 普通作業員(人), バックホウ運転又はラフレックレン賃料(日), 諸雑費			
管材料計上区分：計上しない						
バックホウ運転費：バックホウ(賃料)；山積み0.45m3						

## 代価表

【施P】基礎砕石  
27.5cm超30.0cm以下 砕石(各種)

25号代価表

1 m2 当り

	名 称 ・ 規 格	構 成 比	積算地区単価	基準地区単価	摘 要	備 考
K						
K1	バックホウ(賃貸)クローラ 山積み0.8m3					
R						
R1	普通作業員					
R2	特殊作業員					
R3	土木一般世話役					
R4	運転手(特殊)					
Z						
Z1	再生砕石 RC-40					
Z2	軽油 小型ローリーハトロール給油					
日当り	作業量補正(道路維持等作業効率低下)：無					
	砕石の厚さ：27.5cm超30.0cm以下					
	砕石の種類：砕石(各種)					
	(バックホウ)山積み0.8m3 賃料長期割引の適用：バックホウ(賃貸)クローラ：山積み0.8m3					



No. 2矩形マンホール  
円形部材料

## 代価表

27号代価表

1式当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
マンホール蓋 下水道用 径600mm T14 浮上防止・かぎ付	組	1				
組立式マンホール 調整金具 調整H25mmまで	組	1				
組立式マンホール 調整リング 600×50	個	1				
1号マンホール 斜壁 600×900×300	個	1				
計						
1式当り						

No. 2矩形マンホール  
箱形部材料

## 代価表

28号代価表

1式当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
箱形マンホール 2200形B 頂版S h=300	基	1				
箱形マンホール 2200形B 中間ブロックM21 h=2100	基	1				
箱形マンホール 2200形B 基礎ブロックMB21 h=2100	基	1				
箱形マンホール 2200形B 基礎ブロックB h=1500	基	1				
開口費 □1400×1500用	箇所	1				
開口費 φ1000用	箇所	1				
開口費 φ800用	箇所	1				
開口費 φ600用	箇所	1				
諸雑費	式	1			調整金	
計						
1式当り						













## 代価表

注入消耗材料費  
複相方式

37号代価表

1,000 L 当り

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
複相式二重管スレーナ注入消耗材料費 (複相用)ゲラウトモニター φ40.5mm	個	0.020				
複相式二重管スレーナ注入消耗材料費 (複相用)注入ホース類 φ12mm	組	0.005				
複相式二重管スレーナ注入消耗材料費 (複相用)サクションホース φ38mm	組	0.003				
雑品	%				諸雑費	
計						
1 L 当り						

## 代価表

削孔消耗材料費(複相方式)  
レキ1.4m 砂6.83m 粘0m

38号代価表

1 本 当 り

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
複相式二重管スレーナ注入消耗材料費 (単相・複相共通)二重管ホーリングロッド	m	0.070				
複相式二重管スレーナ注入消耗材料費 (単相・複相共通)メタルクラウン φ41mm	個	0.420				
複相式二重管スレーナ注入消耗材料費 (複相用)ゲラウトモニター φ40.5mm	個	0.007				
雑品	%				諸雑費	
複相式二重管スレーナ注入消耗材料費 (単相・複相共通)二重管ホーリングロッド	m	0.204				
複相式二重管スレーナ注入消耗材料費 (単相・複相共通)メタルクラウン φ41mm	個	0.273				
複相式二重管スレーナ注入消耗材料費 (複相用)ゲラウトモニター φ40.5mm	個	0.020				
雑品	%				諸雑費	
計						
1 本 当 り						
レキ質土の削孔長(m/本) : 101=1.4m						
レキ質土の削孔長(m/本) : 101=1.4m						
砂質土の削孔長(m/本) : 102=6.83m						
砂質土の削孔長(m/本) : 102=6.83m						

代価表

削孔消耗材料費(複相方式)  
レキ1.4m 砂6.83m 粘0m

38号代価表

1本当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
粘性土の削孔長(m/本) : 103=0m 粘性土の削孔長(m/本) : 103=0m						

代価表

削孔消耗材料費(複相方式)  
レキ1.4m 砂6.87m 粘0m

39号代価表

1本当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
複相式二重管スレーナ注入消耗材料費 (単相・複相共通)二重管ホーリングロッド	m	0.070				
複相式二重管スレーナ注入消耗材料費 (単相・複相共通)メタルクラウン φ41mm	個	0.420				
複相式二重管スレーナ注入消耗材料費 (複相用)グレートモーター φ40.5mm	個	0.007				
雑品	%				諸雑費	
複相式二重管スレーナ注入消耗材料費 (単相・複相共通)二重管ホーリングロッド	m	0.206				
複相式二重管スレーナ注入消耗材料費 (単相・複相共通)メタルクラウン φ41mm	個	0.274				
複相式二重管スレーナ注入消耗材料費 (複相用)グレートモーター φ40.5mm	個	0.020				
雑品	%				諸雑費	
計						
1本当り						
レキ質土の削孔長(m/本) : 101=1.4m レキ質土の削孔長(m/本) : 101=1.4m 砂質土の削孔長(m/本) : 102=6.87m 砂質土の削孔長(m/本) : 102=6.87m						

削孔消耗材料費(複相方式)  
 口径1.4m 砂6.87m 粘0m

### 代価表

39号代価表

1本当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
粘性土の削孔長(m/本) : 103=0m						
粘性土の削孔長(m/本) : 103=0m						

H鋼山留材質料 H300 3.4t  
 1回使用

### 代価表

40号代価表

1式当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
鋼製山留材(賃貸)90日以内 H-300	t/日					
鋼製山留材(賃貸)整備費 H-300 100kg/m	t	3.400				
諸雑費	式	1			調整金	
計						
1式当り						
供用日数の掛け方 : 数量欄に対して供用日数を掛ける 代価表単位の選択 : 1式当り代価表 1式当りH形鋼質量の適用 : 賃貸質量(t)を入力 1式当りH形鋼賃貸質量 : B'=3.4t H形鋼種別 : K=300,W=100 ; H300 ; 種別,m当り質量(kg/m) 副部材計上区分 : 計上しない 継続工事の有無 : 継続工事なし 供用日数の適用方法 : 供用日数(賃料期間)を入力 1現場当り供用日数 : d=16日 主部材 修理費及び損耗費又は整備費の有無 : 鋼製山留材(賃貸)整備費 ; H-300 100kg/m 1現場での使用回数 : n=1回使用						

## 代価表

H鋼山留材質料 H350 2.6t  
1回使用

41号代価表

1式当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
鋼製山留材(賃貸)90日以内 H-350	t/日					
鋼製山留材(賃貸)整備費 H-350 150kg/m	t	2.600				
諸雑費	式	1			調整金	
計						
1式当り						
供用日数の掛け方：数量欄に対して供用日数を掛ける 代価表単位の選択：1式当り代価表 1式当りH形鋼質量の適用：賃貸質量(t)を入力 1式当りH形鋼賃貸質量：B'=2.6t H形鋼種別：K=350,W=150；H350；種別,m当り質量(kg/m) 副部材計上区分：計上しない 継続工事の有無：継続工事なし 供用日数の適用方法：供用日数(賃料期間)を入力 1現場当り供用日数：d=16日 主部材 修理費及び損耗費又は整備費の有無：鋼製山留材(賃貸)整備費；H-350 150kg/m 1現場での使用回数：n=1回使用						

## 代価表

H鋼山留材質料 H400 7.2t  
1回使用

42号代価表

1式当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
鋼製山留材(賃貸)90日以内 H-400	t/日					
鋼製山留材(賃貸)整備費 H-400 200kg/m	t	7.200				
諸雑費	式	1			調整金	
計						
1式当り						
供用日数の掛け方：数量欄に対して供用日数を掛ける 代価表単位の選択：1式当り代価表 1式当りH形鋼質量の適用：賃貸質量(t)を入力 1式当りH形鋼賃貸質量：B'=7.2t H形鋼種別：K=400,W=200；H400；種別,m当り質量(kg/m) 副部材計上区分：計上しない 継続工事の有無：継続工事なし 供用日数の適用方法：供用日数(賃料期間)を入力 1現場当り供用日数：d=16日 主部材 修理費及び損耗費又は整備費の有無：鋼製山留材(賃貸)整備費；H-400 200kg/m 1現場での使用回数：n=1回使用						





【施P】型枠  
撤去しない埋設型枠

## 代価表

45号代価表

1 m<sup>2</sup>当り

	名称・規格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘要	備考
R						
R1	特殊作業員					
R2	普通作業員					
R3	土木一般世話役					
日当り	作業量補正(道路維持等作業効率低下)：無					
型枠の種類	：撤去しない埋設型枠					
構造物の種類	：支承部・連結部					

【施P】モルタル練  
高炉 1:3 パラ物荷渡し場所及び取引数量は物価資料による

## 代価表

46号代価表

1 m<sup>3</sup>当り

	名称・規格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘要	備考
R						
R1	普通作業員					
Z						
Z1	高炉セメント(B) パラ物 荷渡し場所及び取引数量は物価資料					
Z2	コンクリート用砂 コンクリート用砂					
日当り	作業量補正(道路維持等作業効率低下)：無					
セメント種類	：高炉					
混合比	：1:3					
セメント(高炉)	：高炉セメント(B)；パラ物 荷渡し場所及び取引数量は物価資料による					
セメント材料の単位選択	：「t」単位のセメント材料					
砂	：コンクリート用砂；コンクリート用砂					
砂材料の単位	：「m <sup>3</sup> 」単位の砂材料単価					



【施P】型枠  
一般型枠 鉄筋・無筋構造物

## 代価表

49号代価表

1 m2当り

	名称・規格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘要	備考
R						
R1	型わく工					
R2	普通作業員					
R3	土木一般世話役					
日当り	作業量補正(道路維持等作業効率低下)：無					
	型枠の種類：一般型枠					
	構造物の種類：鉄筋・無筋構造物					

【施P】基礎砕石  
17.5cm超20.0cm以下 砕石(各種)

## 代価表

50号代価表

1 m2当り

	名称・規格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘要	備考
K						
K1	パックホリ(賃貸)クローラ 山積み0.8m3					
R						
R1	普通作業員					
R2	特殊作業員					
R3	土木一般世話役					
R4	運転手(特殊)					
Z						
Z1	再生砕石 RC-40					
Z2	軽油 小型ローリーパトロール給油					
日当り	作業量補正(道路維持等作業効率低下)：無					
	砕石の厚さ：17.5cm超20.0cm以下					
	砕石の種類：砕石(各種)					
	(パックホリ)山積み0.8m3) 賃料長期割引の適用：パックホリ(賃貸)クローラ：山積み0.8m3					

## 代価表

【施P】基礎砕石  
17.5cm超20.0cm以下 砕石(各種)

50号代価表

1 m<sup>2</sup>当り

名称・規格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘要	備考
砕石(各種) : 再生砕石 ; RC-40 軽油 : 軽油 ; 小型ローリー バトル給油					

## 代価表

矩形ブロック据付工

51号代価表

1箇所当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
土木一般世話役	人					
特殊作業員	人					
普通作業員	人					
トラックレン(作業料金) 4.9t吊 オペレータ付 日極	台/日					
諸 雑 費	式	1			調整金	
計						
1箇所当り						
(トラックレン) 賃料長期割引の適用 : 長期割引あり トラックレン(長期割引あり) : トラックレン(作業料金) ; 4.9t吊 オペレータ付 日極 (トラックレン) 賃料深夜割増の適用 : 深夜割増なし 資材計上区分 : 施工費のみ						



【施P】型枠  
一般型枠 小型構造物

## 代価表

53号代価表

1 m<sup>2</sup>当り

名称・規格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘要	備考
R					
R1					
R2					
R3					
日当り	作業量補正(道路維持等作業効率低下)：無				
型枠の	種類：一般型枠				
構造物の	種類：小型構造物				

【施P】舗装版切断  
アスファルト舗装版 As:15cm以下

## 代価表

54号代価表

1 m当り

名称・規格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘要	備考
K					
K1					
R					
R1					
R2					
Z					
Z1					
Z2					
日当り	作業量補正(道路維持等作業効率低下)：無				
舗装版	種別：アスファルト舗装版				
アスファルト	舗装版厚：15cm以下				
コンクリート	カッタ(プレート)径22インチ：コンクリートカッタプレート；径56cm(55cm)				
カソリン	レキユラー：レキユラーカソリン；スタント				







## 代価表

生コンクリート  
18-8-25 (20) (高炉)

59号代価表

1 m3当り

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
(高炉)生コンクリート 18-8-25, 18-8-40 B種 W/C=60%以下	m3	1				
計						
1 m3 当り						
生コンクリート規格 18-8-25 (20) (高炉) : (高炉)生コンクリート ; 生コンクリートの夜間割増の有無 : 無		18-8-25, 18-8-40	B種 W/C=60%以下			
生コンクリート小型車割増額の計上 : 計上しない						
生コンクリート山岳割増額の計上 : 計上しない						
生コンクリート冬期加熱費計上区分(標準=なし) : 計上しない						

## 代価表

【施P】 殻運搬  
コンクリート(無筋・鉄筋)構造物とりこわし 機械積込 DID無し 6.5km

60号代価表

1 m3当り

	名 称 ・ 規 格	構 成 比	積算地区単価	基準地区単価	摘 要	備 考
K						
K1	ダンプトラック オンロード・ディーゼル・積載質量10t積級					
R						
R1	運転手(一般)					
Z						
Z1	軽油 小型ローリー パトロール給油					
殻発生	作業、積込工法区分 : コンクリート(無筋・鉄筋)構造物とりこわし ; 積込工法区分					
DID区間	の有無 : 無し					
運搬距離	: 6.5km以下					
軽油	: 軽油 ; 小型ローリー パトロール給油					





## 単価表

ラフテレンクレーン(排対2次)  
油圧伸縮ジブ型・吊上能力25t吊

3号単価表

1日当り

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
運転手(特殊)	人					
軽油 小型ローリー パトロール給油	L					
ラフテレンクレーン[排出ガス対策型(第2次基準値)] 油圧伸縮ジブ型・吊上能力25t吊	供用日					
諸 雑 費	式	1			調整金	
計						
1日当り						
1日当り損料又は賃料数量 : Sd2=1.45供用日 供用損料に対する補正 : b=1 ; 単価管理で設定した損料を適用 ; 11欄に掛ける補正值:建設機械(陸上)						
1日当り労務数量 : Rd2=1人 軽油 : 軽油 ; 小型ローリー パトロール給油 1日当り燃料又は電力数量 : Nd2=107L, kWh						

## 単価表

バックホ(賃料)  
山積み0.45m3

4号単価表

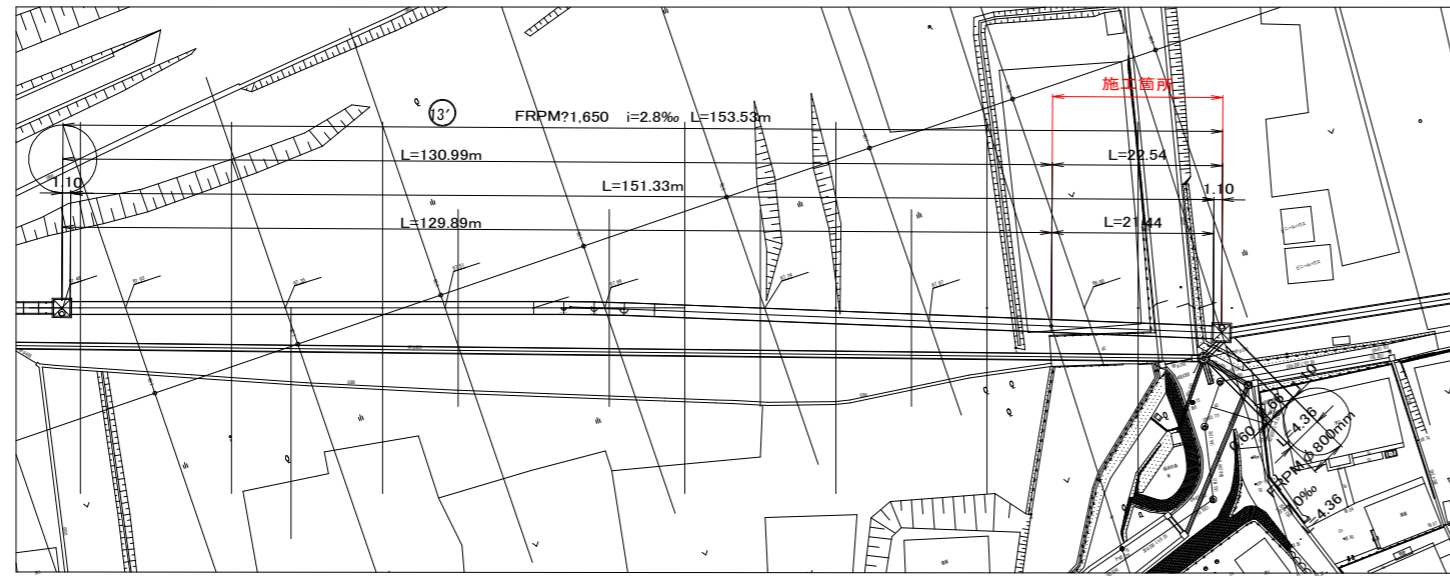
1日当り

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
運転手(特殊)	人					
軽油 小型ローリー パトロール給油	L					
バックホ(賃貸)クローラ型クレーン装置付 山積み0.45m3	台/日					
諸 雑 費	式	1			調整金	
計						
1日当り						
(バックホ)賃料長期割引の適用 : 長期割引あり (バックホ)賃料長期割引の適用 : 長期割引あり (バックホ)賃料長期割引の適用 : 長期割引あり 軽油 : 軽油 ; 小型ローリー パトロール給油						

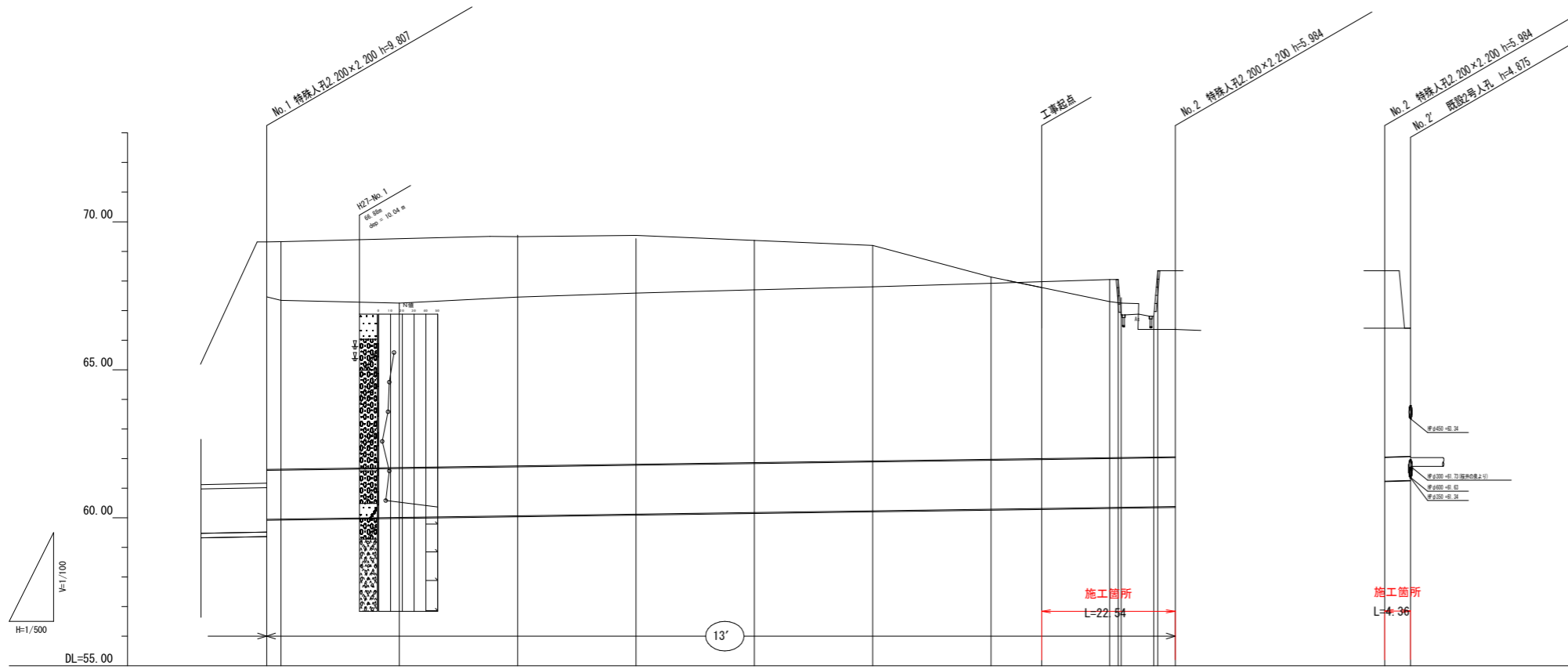
数量計算書総括表

レベル1 工事区分	レベル2 工種	レベル3 種別	レベル4 細別	レベル5 規格	単位	φ1650	φ800	No.2 人孔	付帯	数量	摘要
管路	土工										
		床堀工	一次 A区分 バックホ		m <sup>3</sup>	373		90		463	
		床堀工	二次 B区分 バックホ		m <sup>3</sup>	277	15	138		430	
		床堀工	二次 B区分 クラムシエル		m <sup>3</sup>	43	1			44	
		基面整正			m <sup>2</sup>	64	4	8		76	参考
		埋戻工	一次(流用土) A区分		m <sup>3</sup>	373				373	
		埋戻工	二次(流用土) B区分		m <sup>3</sup>	176	12	93		281	
			二次(碎石) B区分		m <sup>3</sup>	81	3			84	
	残土処分工	残土処分	現場内投棄		m <sup>3</sup>	83	2	125		210	参考
	土留工	建込簡易土留工	H=4.00m 掘削幅 3.00m以下		m	12.00				12	
		鋼矢板	鋼矢板Ⅲ型 L=8.50m		枚	42	10	28		80	
					t	21.42	5.10	14.28		40.80	
		鋼矢板油圧圧入	Nmax ≤ 25								
			布掘		m <sup>3</sup>	0.0	0.0	0.0		0.0	参考
			圧入長		m	8.00	8.00	8.00		24.00	
			引抜長		m	8.00	8.00	8.00		24.00	
		支保工	設置・撤去		t	7.473	1.508	4.276		13.257	切梁・腹起
	管渠工	管材料	FRPM φ1650mm×4.00m B形1種	標準管	本	5				5	
			FRPM φ1650mm×1.50m B形1種	受口短管	本	1				1	
		布設工	FRPM φ1650mm		m	21.44				21.4	
		管材料	FRPM φ800mm×4.00m B形1種	標準管	本		1			1	
		布設工	FRPM φ800mm		m		2.66			2.7	
		砕石基礎工	t=30cm		m <sup>3</sup>	19.5	1.1			20.6	参考
					m <sup>2</sup>	64.9	3.7			68.6	
		接続工	コンクリート		m <sup>3</sup>		1.40			1.40	
			型枠		m <sup>2</sup>		4.41			4.41	
			型枠	存置	m <sup>2</sup>		2.80			2.80	
			モルタル充填		m <sup>3</sup>		0.05			0.05	
			既設側壁はつり	無筋	m <sup>3</sup>		0.11			0.11	
			残塊処分		m <sup>3</sup>		0.11			0.11	
	No.2 矩形組立 マンホール工	円形部材料	マンホール鉄蓋(φ600) T-14 受枠共		組				1	1	
			調整金具 h≤25		組				1	1	
			調整リング φ600×50		個				1	1	
			斜壁ブロック φ600×φ900×300		個				1	1	
		箱形部材料	頂版ブロック H-300		個				1	1	
			中間ブロック H-2100		個				1	1	
			基礎ブロック H-2100		個				1	1	
			基礎ブロック H-1500		個				1	1	
		基礎工	敷きモルタル		m <sup>3</sup>				0.14	0.14	
			基礎コンクリート		m <sup>3</sup>				1.21	1.21	
			同上型枠		m <sup>2</sup>				1.70	1.70	
			基礎砕石 t=20cm		m <sup>2</sup>				8.1	8.07	
		ブロック据付工			m				5.98	5.98	
		インバート工	コンクリート		m <sup>3</sup>				1.88	1.88	
			同型枠		m <sup>2</sup>				3.23	3.23	
構造物撤去工	舗装撤去	舗装切断	t=4cm	m				8.2	8.2		
		舗装取り壊し工		m <sup>2</sup>				23.0	23.0		
		残塊処分	As	m <sup>3</sup>				0.9	0.9		
	構造物撤去	鉄筋コンクリート		m <sup>3</sup>				3.2	3.2		
		残塊処分	無筋Co	m <sup>3</sup>				3.2	3.2		
		無筋コンクリート		m <sup>3</sup>				23.3	23.30		
		残塊処分	有筋Co	m <sup>3</sup>				23.3	23.30		

平面図 H=1/500



縦断面 V=1/100  
H=1/500

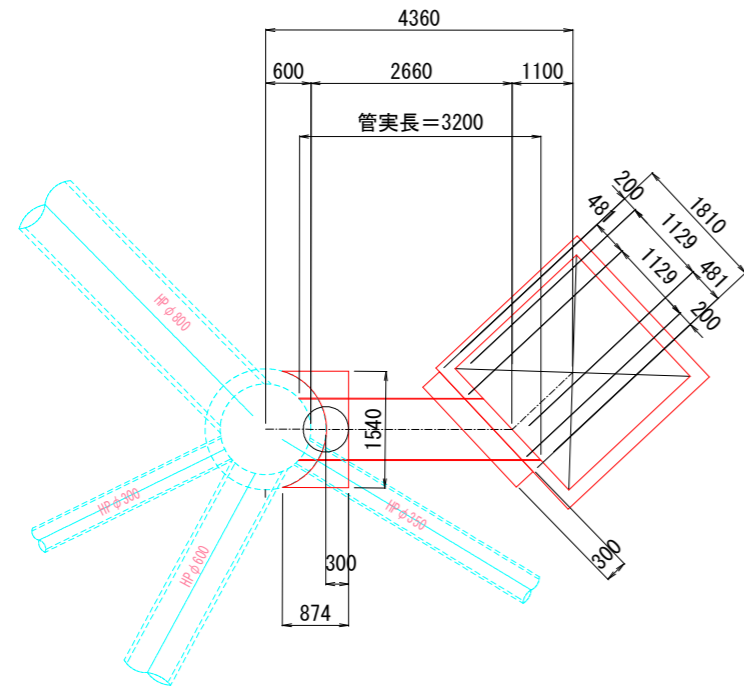


管 径 φ	FRPΦ 1650 (JIS A 5350 外圧1種)													FRPΦ 800 (JIS A 5350 外圧2種)																																																																																																																									
	2.8																																																																																																																																						
勾 配	153.53																																																																																																																																						
区 間 距 離	4.36																																																																																																																																						
計画地盤高																	現況地盤高																	土 被																	管 底 高																	埋 込 深																	単 距 離																	追加距離																	測 法																
現況地盤高																	土 被																	管 底 高																	埋 込 深																	単 距 離																	追加距離																	測 法																																	
土 被																	管 底 高																	埋 込 深																	単 距 離																	追加距離																	測 法																																																		
管 底 高																	埋 込 深																	単 距 離																	追加距離																	測 法																																																																			
埋 込 深																	単 距 離																	追加距離																	測 法																																																																																				
単 距 離																	追加距離																	測 法																																																																																																					
追加距離																	測 法																																																																																																																						
測 法																																																																																																																																							

工事名	土田渡雨水幹線整備工事		
図面名	平面縦断面図		
施工箇所名	可見市 土田地内		
縮 尺	H=1:100		
	V=1:500		
事業者名	可見市 建設部 土木課		

FRPM φ800mm布設詳細図

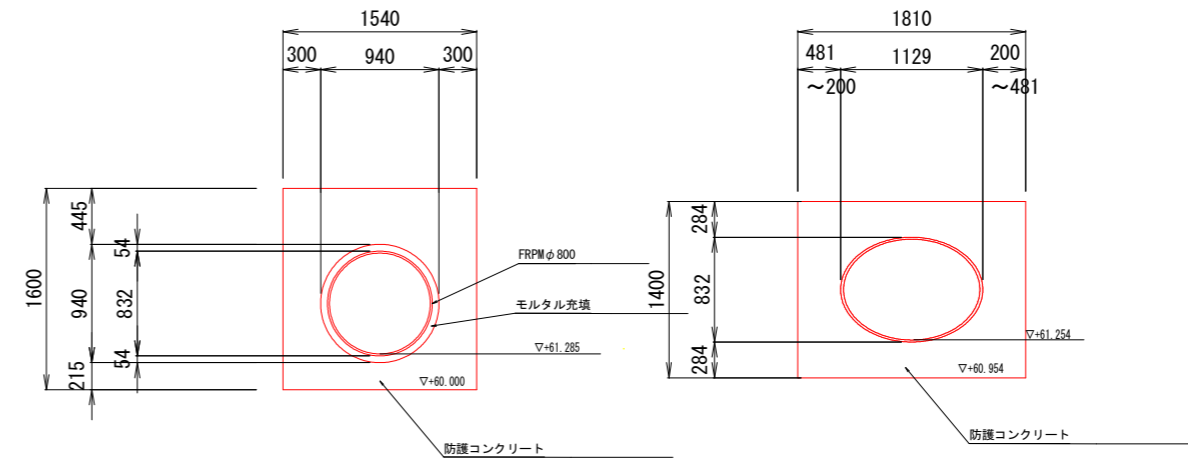
平面図 S=1/100



防護コンクリート S=1/30

A-A

B-B

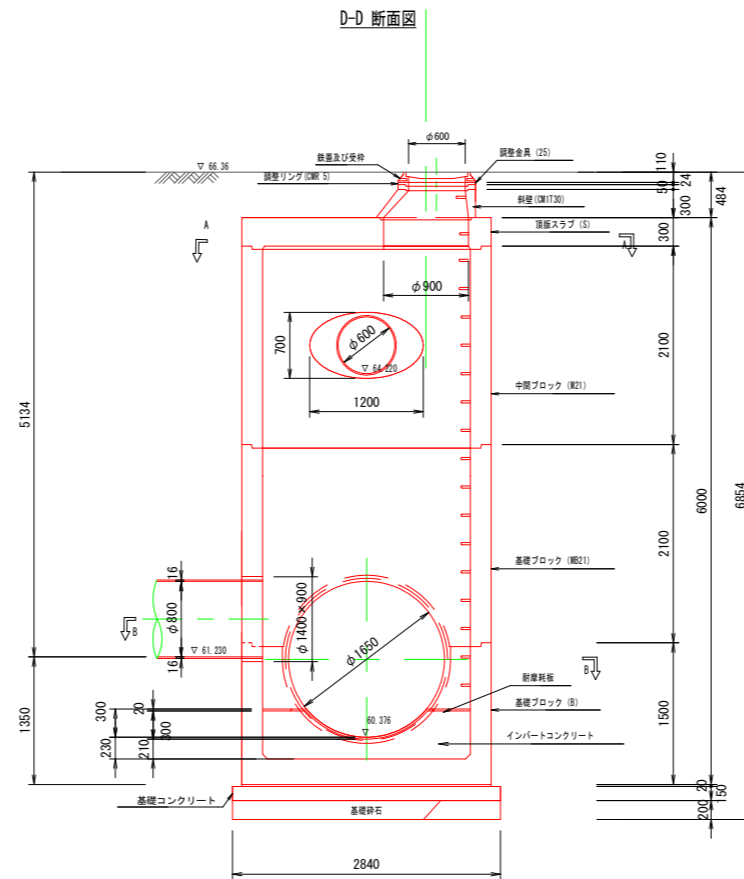
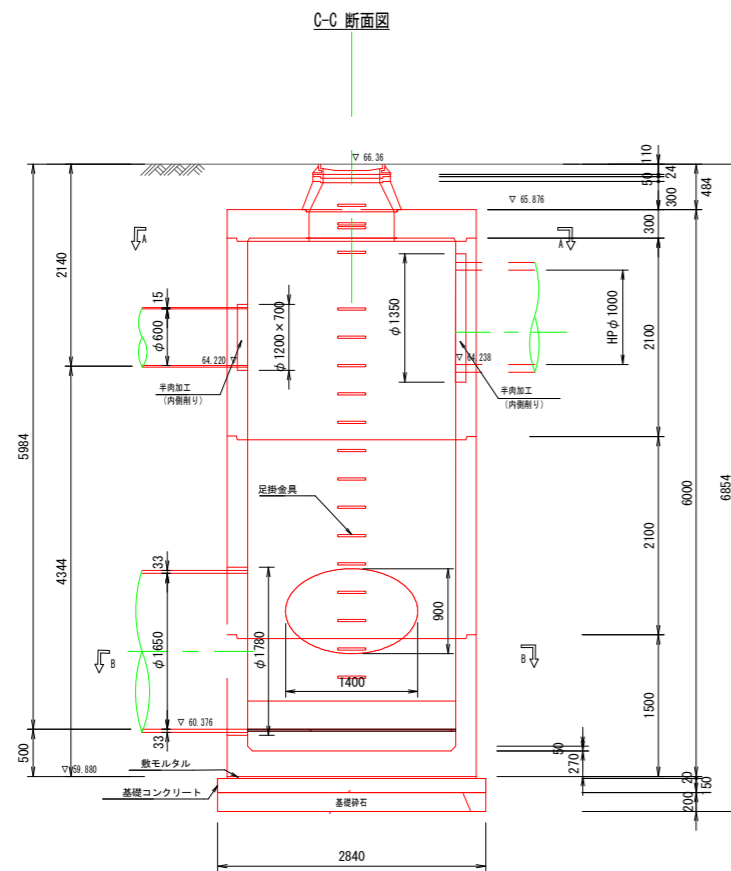
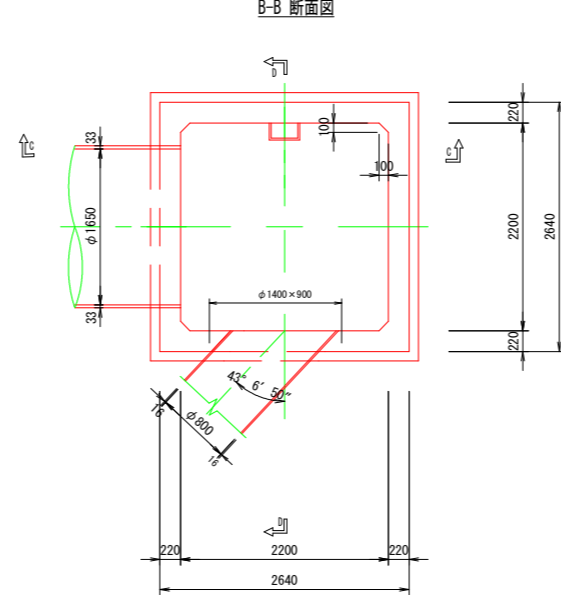
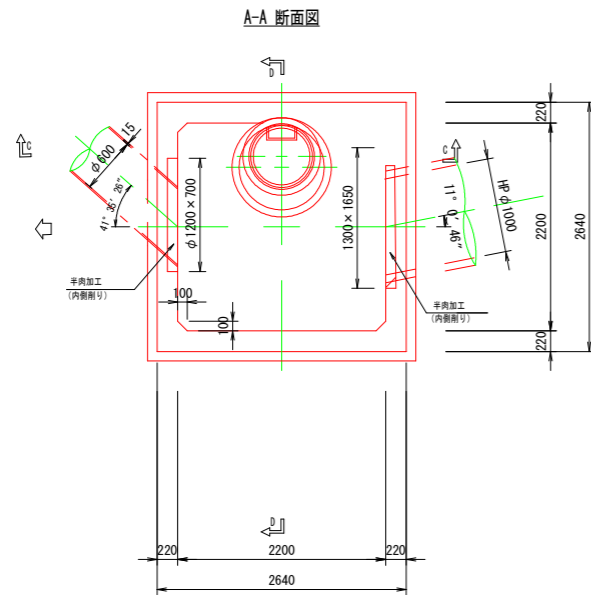


工事名	土田渡雨水幹線整備工事		
図面名	FRPM φ800mm布設詳細図		
施工箇所名	可見市 土地内		
縮尺	S=1:100		
	S=1:30		
事業者名	可見市 建設部 土木課		

箱形マンホール 口2200×2200 組立図

No. 2

S=1/40



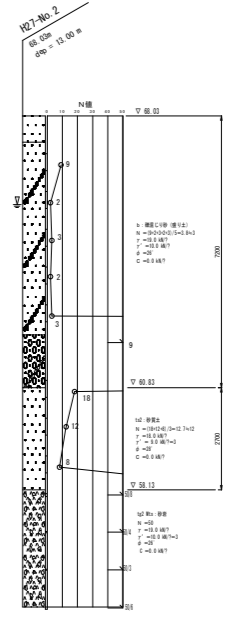
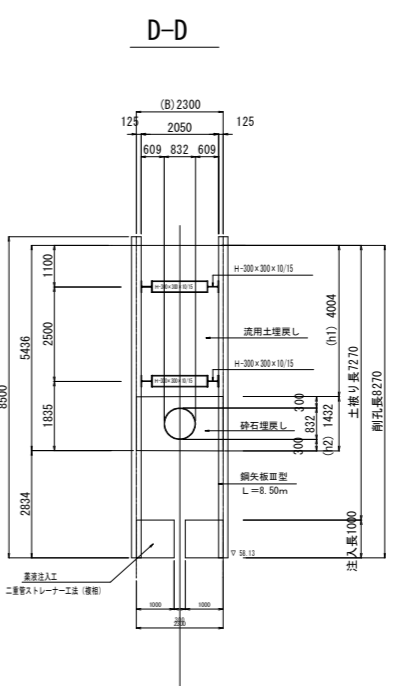
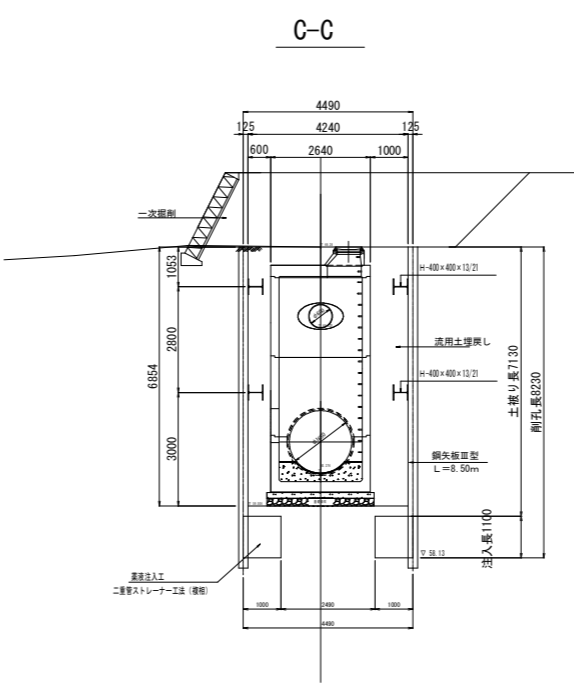
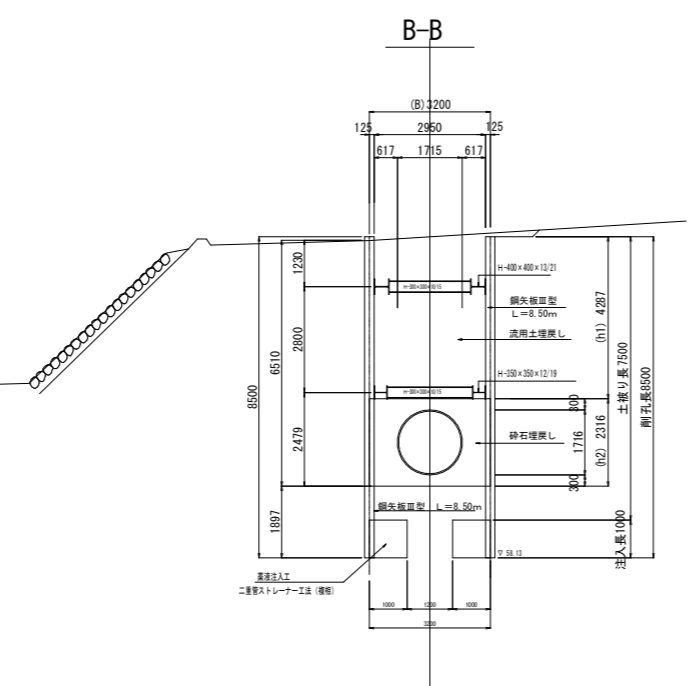
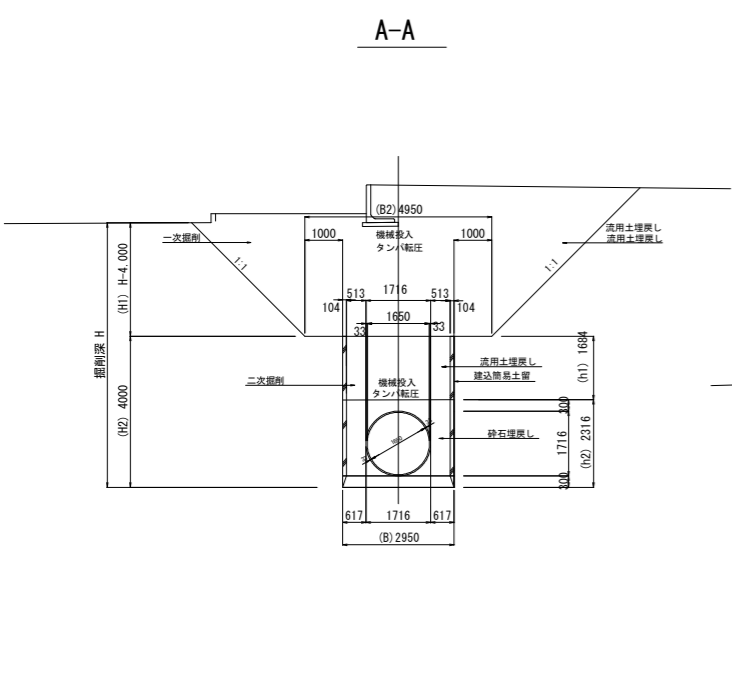
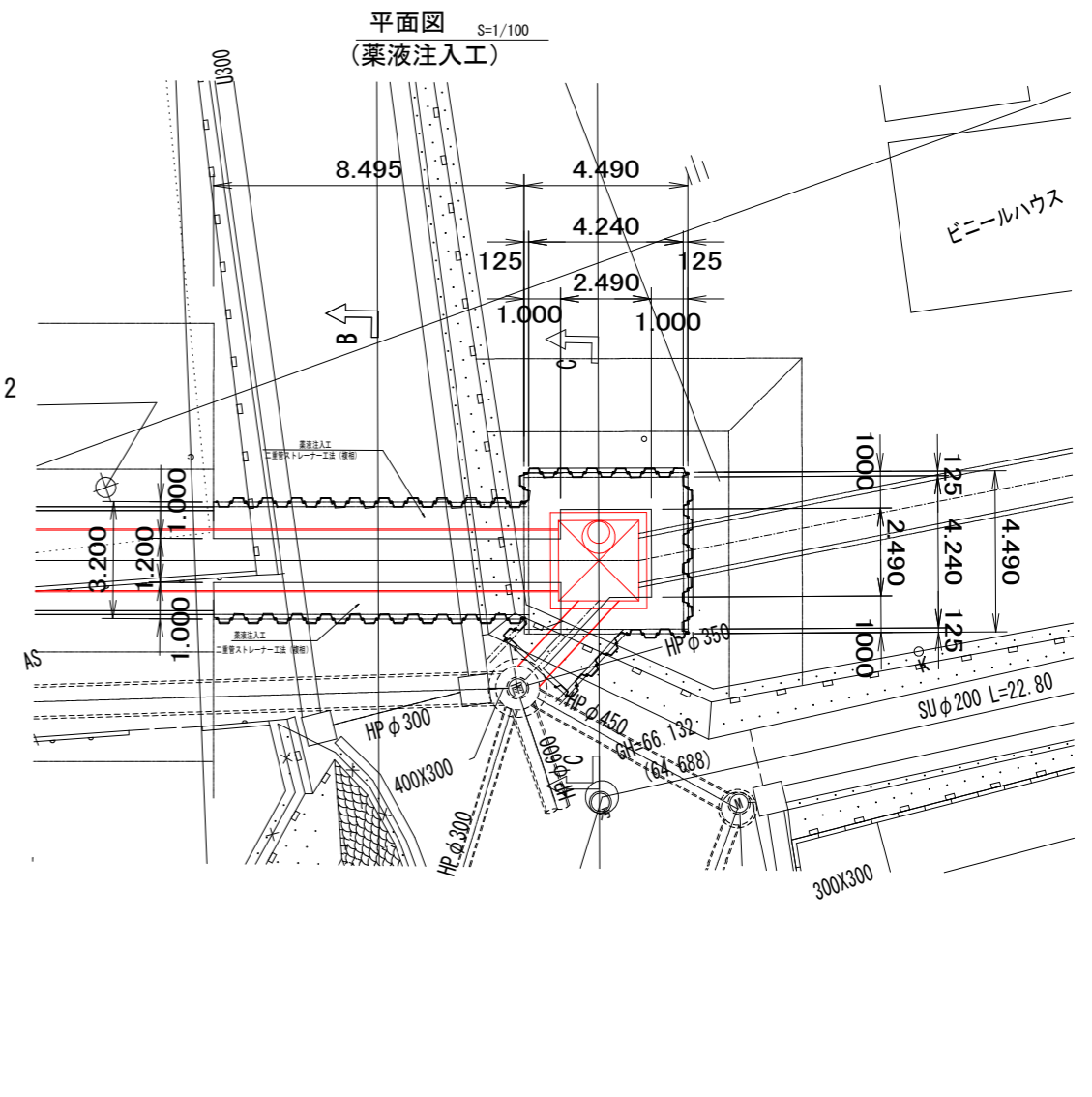
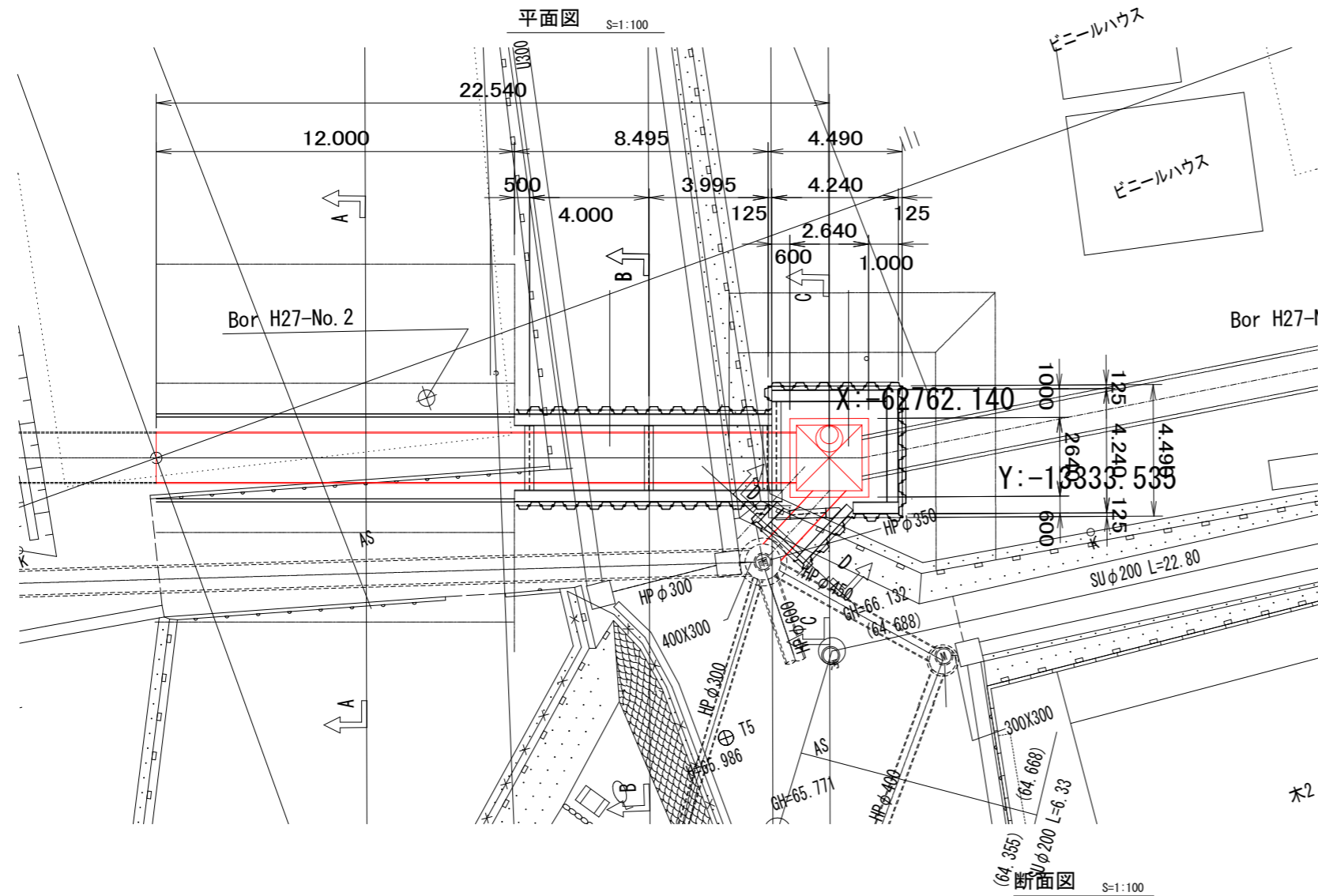
数量表

部 材	箱 形 部								円 形 部																
	基礎ブロック		基礎ブロック/中間ブロック						直 壁				斜 壁				調整リング			調整金具		鉄 蓋	調 整 高		
	B	MB18	M21	M21	M9	M6	F	S	C M 1 S	C M 1 T	C M R	C M R	調整金具	調整金具	調整金具	鉄 蓋	調 整 高								
高さ	1500	1900	2100	2100	900	600	300	300	180	150	120	90	60	30	60	45	30	15	10	5	45	25	MF1	24	
数量	1	1	1	1	1	1	1	1																	

箱形部材は (社) 日本下水道協会 II 類認定器材とする。

工事名	土田渡雨水幹線整備工事		
図面名	No. 2 箱形マンホール2200×2200		
施工箇所名	可見市	土田地内	
縮 尺	1:40		
事業者名	可見市	建設部	土木課

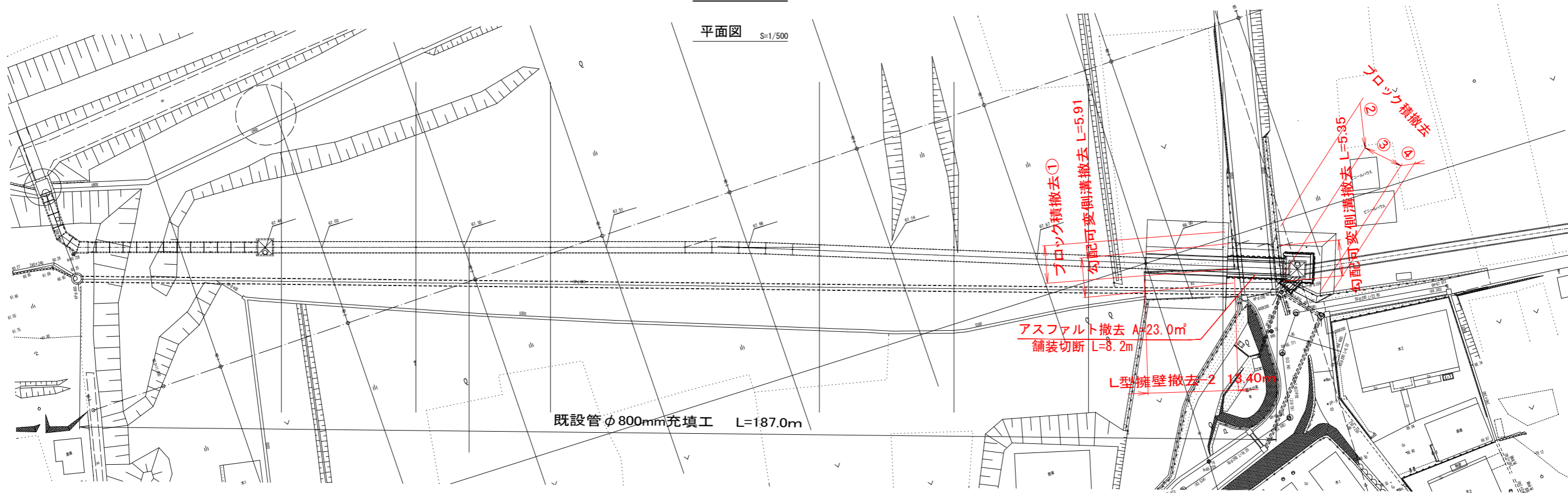




工事名	土田波雨水幹線整備工事		
図面名	土留め工図		
施工箇所名	可見市 土田内		
縮尺	S=1:100		
事業者名	可見市 建設部 土木課		

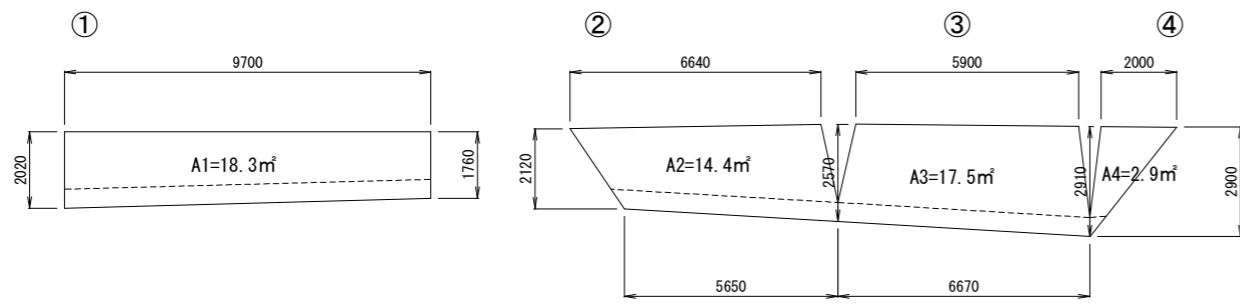
撤去工図

平面図 S=1/500



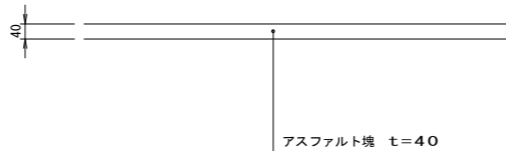
ブロック積撤去 展開図

S=1/100



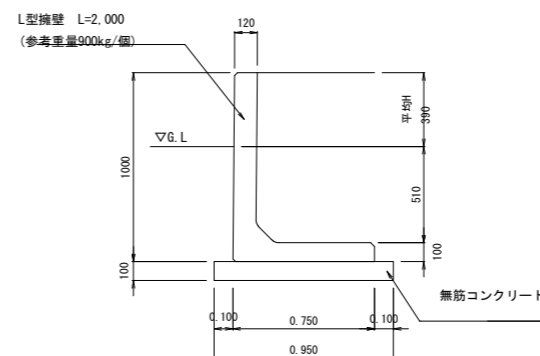
アスファルト撤去

S=1:20



L型擁壁撤去-2

S=1:20



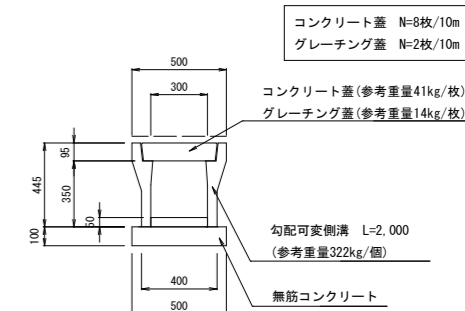
L型擁壁撤去-2 数量表

10m当り

名称	規格	単位	数量	摘要
無筋コンクリート		m <sup>3</sup>	1.0	
鉄筋コンクリート		m <sup>3</sup>	1.8	

勾配可変側溝撤去

S=1:20



工事名	土田渡雨水幹線整備工事		
図面名	撤去工図		
施工箇所名	可見市 土田地区内		
縮尺	S=1:500	S=1:100	S=1:20
事業者名	可見市 建設部 土木課		